

養 氣 軒

ようきけん

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

078 | ガーデニングボランティア

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



ガーデニングボランティアの紹介

毎年6月になると、川棚町の園芸ボランティア『園芸やろう会』の皆様によって、カフェテリア正面の花壇がきれいに整備されます。

今年も6月25日に来院いただき、200本以上の株を植えていただきました。

色とりどりのきれいな花株は、配置良く花壇に収まりました。

蒸し暑い中、ありがとうございました。またよろしく願いいたします。☞

(主任保育士 小林 聡子)



家族の介護負担の軽減として レスパイト入院を行っています

看護師長 福本 明美

5階病棟は、脳神経内科病棟として専門性とチーム力を発揮し、患者さんやご家族の身体的・精神的な支えとなることを大事にしながら看護を実践しています。神経・筋難病の方は、疾患の特殊性から長期療養で自宅で介護されているご家族も多くおられます。

当病棟ではレスパイト入院を行っており、ご家族に代わって、看護師ほか医療チームがケア・援助を行い、患者さんやご家族にリフレッシュしていただき、在宅で長く過ごせるよう支援しています。

最近豪雨や家屋の浸水など自然災害、またコロナ禍の中、特に人工呼吸器装着の方は、家にいると心配・不安などの理由で一時的に入院して来られる場合もあります。

レスパイト入院中の患者さんやご家族がまた安心して自分たちの住み慣れた場所で過ごせるよう、スタッフは生活の視点を大事にしながら、個々の看護・介護の提供に取り組んでいます。



入院された患者さんの手作りの作品です。



カンファレンスで患者情報の確認。統一したケアを提供します。

Café Infini (カフェ アンフィニ) オープンしました!

看護師長 酒井 真澄

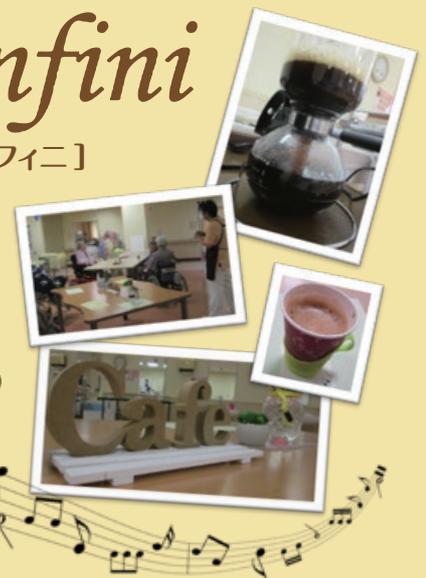
8病棟では、COVID-19感染対策のため、ステイ病棟で不自由な思いをしている患者さんに少しでも楽しい時間を過ごしていただきたいと思い、新しい挑戦を始めました。

病棟の食堂には本格的なドリップコーヒーの香りが漂い、心地良い音楽が流れていました。普段病室で食べている各自持参のおやつもカフェで食べると数段おいしく感じられたようで、「カフェの雰囲気が出ている。」「メニューが豊富。」等、大好評でした。不定期ではありますが、次回のオープンを楽しみにしていただけたいと思います。

1日も早くこの状況が終息し、患者さん・ご家族と共にワイワイ会話をしながらカフェを楽しめる日が来ることを願いたいと思います。

Café Infini

【カフェ アンフィニ】



おしゃれなカフェに来たような…
リラックスした時間をお過ごしください。

DPCについて

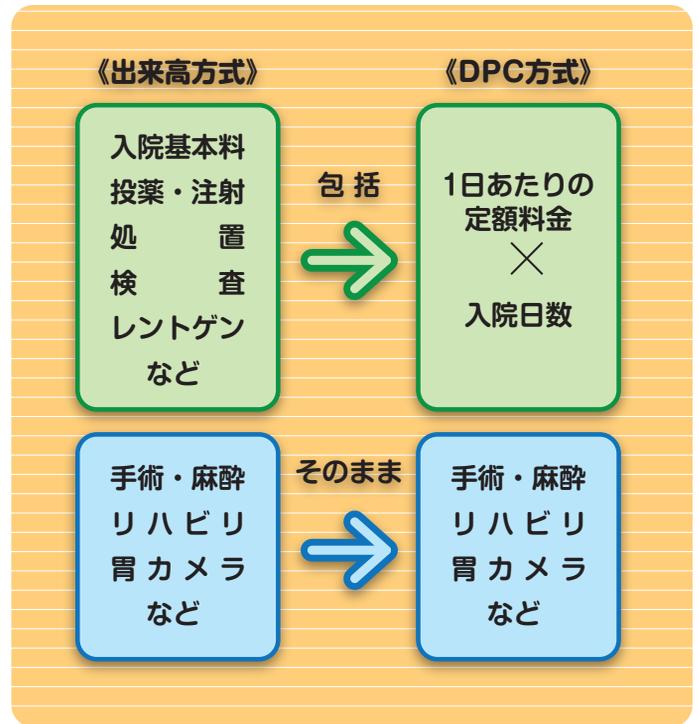
診療情報管理士 谷口 実奈美

当院の入院費は、「包括評価方式 (DPC)」という医療費制度で計算しております。

DPCとは、Diagnosis (診断)、Procedure (手技)、Combination (組み合わせ) の略で、入院治療の中心となった病名と治療内容によって決定される「診断群分類」ごとの1日あたりの定額点数(包括部分)に、手術・麻酔・放射線治療・リハビリテーション等の出来高部分点数を合算して入院費を算定する方法です。国が定めた病名と診療行為の組み合わせによる約3990種類の包括点数から選択し計算しています。

DPC対象病院とは、厚生労働省より急性期の病院として必要な多くの条件を満たしている病院に認められるものです。

DPCの導入によって、病名や診療の内容に応じて、おおよそどのくらいの医療費がかかるかの目安が付き、患者さんにもより分かりやすくなります。そして、医療の質の向上と標準化がはかれると考えられています。



医療ビッグデータについて

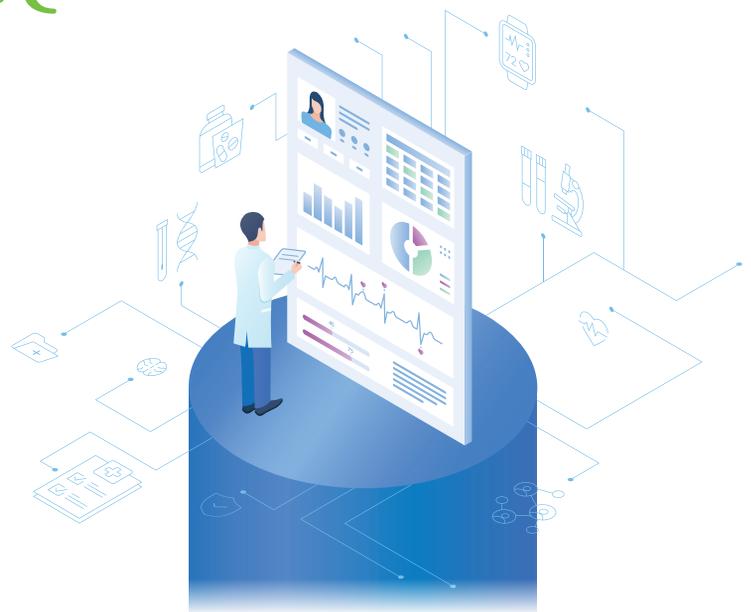
総合情報管理室長 宮崎 哲彦

皆さんご存知のとおり、数年前からビッグデータという言葉がよく耳にされるようになりました。

身の回りのあらゆるものがインターネットに接続するようになり、世界中の至る所で多種多様な情報が常に発生し、収集・蓄積されています。このように蓄積された大量の情報をビッグデータと呼んでいます。

医療の世界においてもビッグデータは非常に重要なものであり、国立病院機構でも平成28年1月1日より「国立病院機構診療情報集積基盤」(略称NCDA)の運用を開始し、個人が特定されない状態で診療情報を収集し、厳密な管理のもと多角的な分析を始めています。

集めたデータを分析することで、医療の質の向上、臨床研究および経営支援等の各分野での活用、医学と医療の発展に伴うより良い患者サービスの提供などに活かすことができ、更には将来起こり得る病気を発症前に診断・予測する先制医療や個人に応じた医療を提供する個々の医療の実現、新薬や新しい医療機器の開発など様々な分野での活用が期待されています。



BIG DATA
in healthcare

診療科紹介(外科)

特任副院長 (外科部長) **寺田 隆介**

消化器外科 (胃、大腸、肛門、肝胆膵、ヘルニアなど) を中心として、総合的に診療・治療する外科、“総合外科”を目指しています。

一般外科 (甲状腺・乳腺・呼吸器・消化器・腹壁疾患) の他、血管については下肢静脈瘤などの外科的治療も行っています。また、癌診療全般を切れ目なく行うように、癌腫に対する外科的手術だけでなく抗癌剤療法、緩和ケアも研鑽を積み、施行しています。

モットーは”Patient First (患者さん第一)”です。毎朝朝朝カンファレンスを行い、多職種で形成するチームで治療方針を決定しています。



具体的には、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士もカンファレンスに参加し、情報を共有しチーム医療を実践しています。また、抄読会を週1回行い最新知識の習得に努めています。

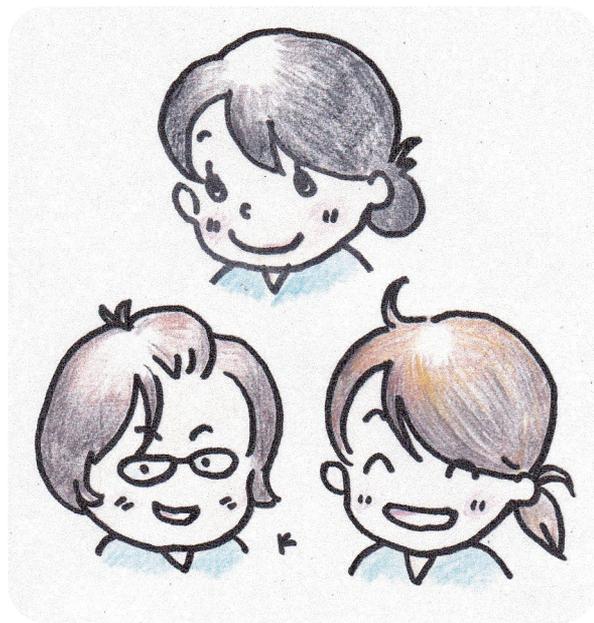
部署紹介(療育指導室)

主任児童指導員 **浦川 萌**

療育指導室とは、8病棟で障害福祉サービス (療養介護) を受けられている方々に対し、日中活動や余暇活動、行事 (イベント)、福祉相談、ボランティア受け入れ等、福祉を専門とした部署となっています。

児童指導員1名、保育士2名 計3名体制と少数精鋭ではありますが、利用者の方々やご家族の想いに寄り添えるよう日々努力しています。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、外出支援や外部のイベント演者を招いての行事開催等が困難となっている状況です。しかし、このような時こそ更に趣向を凝らし、皆様が楽しめる活動を8病棟の病棟スタッフ等とも協力しながら、提供していきたいと考えています。



編集後記

副薬剤師長 山下 典子

この編集後記を書いている頃は、本来であれば夏祭りや花火大会など沢山のイベントが行われる時期でしたが、今年は例年のない長い長い梅雨や豪雨、そして新型コロナウイルスの影響で、残念ながら様々なイベントが縮小・中止となっています。

私は今年4月に帰省した際に百均でひまわりの種をお試しで購入しました。種を蒔いて芽が出て膝丈まで成長したところでの緊急事態宣言、県をまたぐ移動の自

粛となり、ようやく1か月以上経って宣言の解除後に帰省した時にはひまわりは身長をはるかに超え立派な花を咲かせていました。植物のたくましい成長は自粛生活の中での大きな楽しみ、癒しとなりあらためて百均の偉大さを感じた今年の夏でした。これからの秋の紅葉も楽しみに穏やかに安心して過ごせる日が来ることを切に願います。